

第4回 株式会社サインポスト倫理委員会 議事録

日時 平成18年11月29日(水) 15:00~17:00

場所 ホテルラフォーレ新大阪 19階 会議室「カンタベリー」

出席者 委員長 鎌田 武信

副委員長 小杉 眞司

委員 水野 武夫

池上 博司

広野 光子

山崎 義光(社内委員)

瀧口 宗男(社内委員)

事務局 上田 友紀

1. 報告事項

委員の変更について

鎌田委員長より、社内委員の村上竜太が退社したことに伴い、瀧口宗男が委員に就任したことが報告された。

2. 審議事項

遺伝子検査による動脈硬化リスク判定(サインポストMS)サービス開始の件

株式会社サインポストよりサービスの概要が説明され、質疑応答の結果、受診者に送付する結果報告書の一部修正を前提に本議案は満場一致で承認された。本議案の採決には、山崎委員および瀧口委員は提案者であるため参加しなかった。

なお、主な質疑応答は以下の通りである。

【鎌田委員長】環境因子の検査に腹囲が入っていないが、腹囲はメタボリックシンドロームの診断基準のひとつであるため、将来的に入れるよう検討してはどうか。

【山崎委員】まだ腹囲を測定していない施設も多いため、このサービスを運用する過程で腹囲を測定してもらい、将来的にアルゴリズムに反映していきたい。

【小杉副委員長】健常人を前向きに追跡して得られるデータは非常に貴重である。受診者が実際に発症して病院に入院される場合、健診施設を併設する病院であればデータも共有しやすい。データをうまく活用できるシステムが求められる。

【山崎委員】基本的に病院に併設された健診施設に導入してもらうことを想定している。また、受診者には精度向上にご協力いただくよう同意書に記載している。

【水野委員】心筋梗塞と脳梗塞の起こりやすさの判定の基準が「同年代と同程度」を1として1以上を表示しているが、1未満の場合もあるのではないか。

【山崎委員】そのような場合もあるが、リスクが低いと油断されてはいけないので、1未満の場合も1として表示している。

【広野委員】受診者の立場から見ると、環境因子の検査値だけでも大体のことは分かる。遺伝子検査の特徴をもっと強調してほしい。

【池上委員】遺伝因子でリスクの高い項目が出た場合は、その部分を強調すると受診者にとっても理解しやすい。

【山崎委員】総合リスクと重点的に管理すべき項目を強調するよう修正する。

以上

録田 氏 印

